

令和6年度 建設業の魅力発信の取組み状況

福岡県建設産業魅力発信&女性活躍イベント2024

令和6年度は、『知る！学べる！楽しめる』をキーワードに、①中学生・高校生にもっと身近に感じてもらうための建設産業の仕事を紹介する『お仕事フェス』、②大学生に専門の有無にかかわらず建設産業を身近に感じ、就職してもらうための『仕事発見ワークショップ』、③建設産業の第一線で活躍する女性たちのトークイベントや座談会を行う『女性活躍ワークショップ』を開催。

①お仕事フェス

対象者:主に中学生・高校生
会 場:北九州市(1/19)、福岡市(1/26)
内 容:

<トークセッション>

建設産業をもっと身近に感じてもらうため、土木/建築の業界で働く方に登壇して頂き、仕事の内容や魅力についてトークセッションを実施。

<体験型コンテンツ>

- ドローン操縦体験
- 3D点群体験
- VRとび職体験
- 建築模型作り体験



▲体験型コンテンツの様子

<個別相談会>



▲トークセッションの様子

②仕事発見ワークショップ

対象者:主に大学生
会 場:九州工業大学(1/14)、久留米大学(1/16)
内 容:

<トークセッション>

工業系の九州工業大学開催では、土木技術者に登壇いただき、土木分野を勉強する学生等に向けて土木職場の魅力を発信。総合系の久留米大学開催では、現場を支えるバックオフィス業務を担う方や他分野から転職して建設産業で活躍する方に登壇いただき、建設産業の職場の魅力等を発信。



▲トークセッションの様子

③女性活躍ワークショップ

対象者:主に女性
会 場:北九州市(1/29)、福岡市(2/5)
内 容:

<トークセッション>

建設産業において第一線で活躍する女性技術者に登壇いただき、女性目線で、土木/建築それぞれの仕事の魅力等を発信。

<座談会>

参加者からの質問に、登壇者が今どきの建設産業の実情やキャリアパス等についてわかりやすく説明。



▲トークセッションの様子

令和6年度「親子で楽しむ建設現場体験会」実施結果報告 【佐賀県】

- 1 日時 令和6年11月9日（土）、10日（日）
- 2 場所 佐賀唐津道路工事現場（佐賀市嘉瀬町）
- 3 参加者 小学4～6年生とその保護者 26組 51名
 - ・募集40組（各回10組×4回）に対し、36組が応募（天候不順等のため当日キャンセル10組）
 - ・家族に同伴した小さな子（小3以下は本来対象外）8人にも体験してもらい、総計34人の子どもが体験した。
- 4 内容
 - ・コンクリート壁への「夢描き体験」
 - ・建設機械操作体験（一部搭乗）
- 5 協力 有明海沿岸道路整備事務所、佐賀道路工事安全協議会

参加者	11月9日(土)		11月10日(日)		計
	午前	午後	午前	午後(雨)	
子ども	7人	6人	7人	6人	26人
保護者	7人	6人	6人	6人	25人
計	14人	12人	13人	12人	51人

夢描き体験(10日午後は雨天中止)



昇降車



バックホウ



ブルドーザ



記念品プレゼント

①オリジナルTシャツ

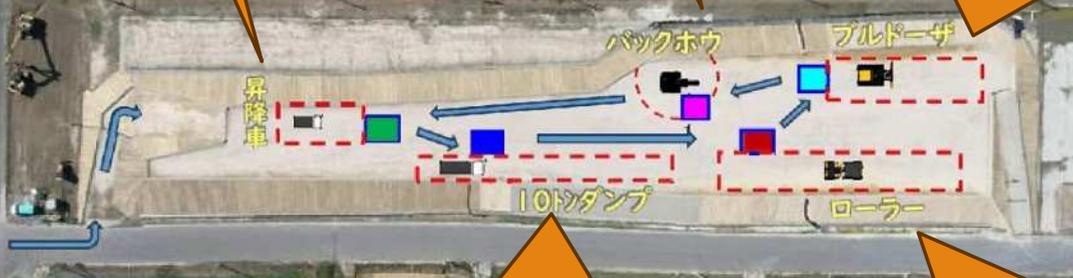


②集合写真（ラミネート加工）



③飴のつかみ取り

④各種ノベルティ



ダンプ



タイヤローラ



ドローン+シミュレーター



建設業の魅力発信の取組み状況

産学官で連携して「土木の日」のイベントを開催し、県民の皆さんに土木の役割を知ってもらうと共に、土木を身近に感じてもらえるよう、パネル・模型展や現場見学会などを通して土木の魅力を発信!!



■パネル・模型展



【アーケードにパネルを設置】



【模型を使ってインフラ整備の効果を分かりやすく説明】



■おもしろ体験隊

■現場見学会



【ダムの見学】



【施工中のトンネルの現場を見学】



【橋の模型を製作】

【参加者の声】

- ・今後も土木に興味・関心をもっていきたいと感じた。
- ・1年後に工事が進んだ状況をまた見に来たい。
- ・子供にも親にもとてもわかりやすく、楽しい時間だった。

【DOVOCフェア2024のチラシ】

建設企業の魅力発見フェア（合同説明会）

就職活動を控える高校3年生や若手求職者を主な対象に、県内建設産業への就職を促進する機会として、県内建設企業が一堂に会するフェア（合同説明会）を開催。

- 日時：令和6年（2024年）6月19日（水）
- 場所：グランメッセ熊本（上益城郡益城町）
- 参加者：出展企業65社、高校生等約600人



工業高校オープンキャンパス支援

中学生やその保護者を対象に、工業高校土木科の志望者増につなげるため、工業高校オープンキャンパスにおいて、建設産業の魅力PRに関する取組みを支援。

- 時期：令和6年（2024年）7月～8月
- 対象校：熊本工業高校(熊本市)、玉名工業高校(玉名市)、小川工業高校(宇城市)、球磨工業高校(人吉市)、天草工業高校(天草市)
- 内容：VR重機操作体験、学校紹介動画・パンフレットの作成、熊本地震復興パネル展示 など



建設関連広報

主に未就学児やその保護者に対して、建設業の役割や魅力に触れてもらうため、イベント会場において土木体験ブースを設置。

- 日時： 令和6年（2024年）10月5日（土）～6日（日）
令和6年（2024年）10月26日（土）～27日（日）
- 場所： 花畑広場（サクラマチクマモト前）



「土木の日」フォトコンテスト

「土木の日」の取組みの一環として、土木の世界や建設産業の魅力を、幅広い県民に身近に感じていただく契機とするため、フォトコンテストを開催。 ※今年度からインスタ部門を新設

- テーマ：「あなたの推し土木」
- 応募期間： 令和6年(2024年)7月20日～令和6年(2024年)9月30日
- 募集結果： 合計346点（一般：69点、小学生：29点、中高生：88点、インスタ：160点）



2024 土木の日 フォトコンテスト
Doboku no hi Photo Contest

テーマ
あなたの推し土木
あなたが推し(魅力的)だと感じる日常の中の「土木」に関する写真を気軽に応募ください!

コンテストご応募はこちら

グランプリ
(各部門1作品)
アマゾンギフトカード **1万円**分+副賞
入賞
(各部門4作品)
アマゾンギフトカード **3千円**分+副賞

主催 熊本県土木部監理課
事務局・問い合わせ先 土木の日フォトコンテスト2024運営事務局 (株)RKKメディアプランニング内 kensetsu@rmp.co.jp



<小学生部門グランプリ>



<中高生部門グランプリ>



<一般の部門グランプリ>



<インスタ部門グランプリ>

建設業の魅力発信の取組み拡大に向けて

- 建設業協会青年部会と、大分河川国道事務所、大分県の三者共催で、「第4回土木建築フェスタin大分駅前」を開催
大分工業高校、鶴崎工業高校、日本文理大学も参加し、産学官が連携して、建設産業の魅力を発信した。
- パネル展示、高所作業車・ショベルカーの試乗、ラジコンバックホウ、VR等の体験ブースを設置
➢ 雨にも関わらず、多くのご家族、子どもたちが来てくれました。(来場者:2,854人)



- SNS(Instagram・X)を活用した情報発信
- 小学校へのチラシ配布



高所作業車試乗体験



折り紙建築製作体験



防災メタバース体験

VR体験(防災)

【来場者の声】

- ・貴重な体験ができ、親子で楽しめた。
- ・土木を身近に感じる事ができた。
- ・建設を知るきっかけになり、子どもの視野も広がった。
- ・来年も来たい。楽しみにしています。



BLOCKS(大分県建設産業女性活躍加速化促進事業)では、女性活躍の拡大に向けたスキルアップセミナーや成果発表会、建設産業で働く女性同士の交流会などを開催した。



【スキルアップセミナー】

女性のスキルアップとともに、職域を拡大し、活躍の可能性を広げ、学びを通して交流を深め、情報交換や切磋琢磨できる繋がりを作ります。



ブランドマネージャーコース

地域を守る建設企業、使命感を持つ技術者や技能者、進化している現場の姿、建設産業の魅力ややりがい伝える人を育成します。

【セミナー内容】

- SNS発信
- メディアへのアプローチ
- プレスリリース
- AIの活用
- SNS動画作成



プロジェクトマネージャーコース

日常の事務作業から現場の設計や積算、日々のコストにかかわる情報を一元化し、リアルタイムに生産性を把握する理論を持ち実践に活かす人材を育成します。

【セミナー内容】

- 入札から積算、設計図書の見方
- 事例を通じた積算原価管理の実践的な理解
- 実行予算から日々の原価管理と分析方法
- 工事工程表、進捗月報の算出
- タイムマネジメント
- 写真、出来形、納品管理



ドローンコース

現場のバックオフィスとして、監督を支え品質、安全、工程を補助する。中でもドローンの知識、操作技術、撮影した写真やデータの活用ができる人材を育成します。

【セミナー内容】

- 業務効率化、広報、SNS、リクルートへの活用事例
- 3次元測量データのクーリング
- 点群データ、3次元設計データからの構造物測量、土量計算
- ICT工場の工事点群の動的出来形管理



D&Iコース

建設産業における多様性と包摂の重要性を理解し、リーダーシップを持って、多様なチームや組織をリードすることができる人材を育成します。

【セミナー内容】

- アンコンシャスバイアス
- コミュニケーションスキル
- チームビルディング
- キャリアパス
- リクルート



【R5.9~R6.11】計68名参加
 ブランドマネージャーコース(広報) 19名
 プロジェクトマネージャーコース(施工) 23名
 ドローンコース(測量) 10名
 D&Iコース(人材育成) 16名

大分県建設産業女性活躍加速化促進事業

BLOCKS



BLOCKS.OITA

建設産業の従来のイメージである3K(きつい、危険、汚い)から新4K(給与・休暇・希望・カッコイイ)の実現に向けて、建設DXなどの新たな魅力を発信するため、県内の小学5年生から中学生までを対象に、普段は入ることができない工事現場の見学や、ICT建設機械、3D測量など新技術の体験を行いました。

開催日:令和6年11月16日(土) 場所:庄の原佐野線、大分港大在コンテナターミナルほか

参加者:小学5年生~中学生(および保護者) 27組

橋脚建設中の「庄の原佐野線」 工事現場を見学!



「庄の原佐野線」は都市活動の活性化、交通通
達の緩和、広域連絡の確保といった重要な役
割を担っています。

普段は立ち入ることができ
ない工事現場を見学。工事の担
当者から道路を作る目的や工
程などの説明を受けました。

こんなに興奮が入ってます!

スマホを用いた 3D測量体験・VR体験

- VR体験
- 3D測量体験

生産性を向上させる方法として
注目されている、スマートフォン
やタブレットを活用する3D測量
やVRを体験。ゲーム感覚で土木
に関する知識を学びました。



3D測量で現場作業が「楽に」「安く」「早く」なり、効率化
が図られています。VR技術は、危険やリスクが伴う工事
現場などの確認業務に有益で、お客様とのイメージの共
有や設計・現場の確認などにも活用されています。

3Dデータを活用したICT施工現場を見学

東九州の国際物流拠点を目指して整備された大在コ
ンテナターミナル。新たに設置したガントリークレー
ンは従来のものと比べて、作業の効率化や安全性の
向上が期待されています。



最新のICT(情報通信技術)を活用した工事
現場を見学。その後九州でも有数の港湾施設
「大在コンテナターミナル」にも伺いました。

- 大分港大在西部地区
工事現場で
ICT建設機械を体験
- 大分港大在コンテナ
ターミナル見学



ドローン空撮
記念撮影!

ドローン
ドローン!

こどもたちの感想

みんなの生活を
支える仕事で
大変だなと
思いました。

どの仕事も
楽しそうにやっ
ていて
活気があるなと
感じました。

力仕事と思っ
ていたけど、
思った以上に
ゲーム感覚で
楽しかった。

保護者の感想

ICTで重機を操ったり、ドローンで測量したり、最先端の技
術が駆使されており驚きました。親目線から安全性の向上は
特に大きなメリットだと感じました。土木=3Kのイメージが
吹き飛び、先進的でカッコいい職業だと感じました。

普段乗れない乗り物に乗れ
て
すごい良い体験になりました。

親子で体験

土木の日 BUILD OITA バスツアー

11/16(土)
REPORT

デジタル技術で進化する建設のシゴトを こどもたちが見学&体験!

11月16日(土)、おおいたの将来を担うこどもたちに土木
や建築の魅力を伝える「親子で体験 土木の日 BUILD
OITAバスツアー」が開催されました。

建設産業では、これまでの3K(きつい、汚い、危険)から新
4K(給与・休暇・希望・カッコイイ)を実現するため、ICTや
VRなどのデジタル技術の活用による生産性向上に取り組ん
でいます。

今回は、大分県内の小学5年生から中学3年生まで(保護者
同伴)を対象に、普段は入ることができない工事現場の見学
や、ICT建設機械、3D測量など新技術の体験を行いました。

工事現場を見学!

3D測量&VRを体験!

ICT建設機械を体験!

BUILD OITA
次の大分をつくるのは
君だ!

次世代の担い手確保のため、大分県内の小・中学生向けに、モノづくりの楽しさに触れる体験型講座「土木・建築おしごと教室」を開催した。

講座数:6講座(3講座×2日間) ※1講座:60分・定員20~30組 募集対象:小学5年生~中学2年生(および保護者) 参加者:94組

おおいた建設人材共有ネットワーク

BUILD OITA スクール

親子で体験!

土木・建築おしごと教室

対象 小学5年生▶中学2年生

2024 9/14(土)・15(日)

参加費 無料
※事前申込み必要

3Dソフトで設計体験!

講座1

建築

地震をVRで体験しよう!

講座2

防災・減災

構型で地盤調査体験!

講座3

地盤

FPVを操作してみよう!

講座4

測量

建設の最新技術を体験!

講座5

最新技術

橋のプラモデルを作ろう!

講座6

土木設計

＼好評につき定員を増やしました!／

日	講座	時間	定員
1日目 9/14(土)	講座1	10:30~11:30	(定員30組)
	講座2	13:30~14:30	(定員20組)
	講座3	15:30~16:30	(定員20組)
2日目 9/15(日)	講座4	10:30~11:30	(定員20組)
	講座5	13:30~14:30	(定員20組)
	講座6	15:30~16:30	(定員20組)

※各講座の30分前から受付開始します。 ※要領は児童・生徒1名につき1講座です。

会場
(公財)大分県建設技術センター
花津留庁舎 研修棟
大分市花津留2-2-5(平和市民公園横)

申込期間
9/6(金)正午 締切
申込多数の場合
抽選となります。

申込方法
※小学生は保護者の
同伴必須です。

交通
平和市民公園D駐車場
をご利用ください。



測量体験



ボーリング調査(コア採取)体験



災害メタバース



橋梁プラモデル組立て

令和6年度 土木の魅力発信の取り組み（宮崎県）

● 県内11地区の小学校でイベントを開催



【重機体験】



【出前講座】



【造園体験】



【測量体験】



【橋の模型作り体験】



【コンクリート体験】



令和6年度 土木の魅力発信の取り組み（宮崎県）

● 高校生を対象に現場見学会を開催

- ・ 童里トンネル工事現場見学
- ・ 天下防災ステーション見学
- ・ 西階公園野球場整備事業見学



地域の守り手である建設産業の担い手確保のため、建設業の魅力発信の取り組みを拡大する。

土木・建築の魅力情報を発信する土木部オリジナルキャラクター「かごしま未来応援隊」



建設工事やインフラ施設をテーマにしたフォトコンテスト、パネル展等の開催

「かごしまの土木デザイン」
フォトコンテスト
(鹿児島県建設技術センター主催、
鹿児島県共催)



第12回最優秀賞

「土木フェスタ」

(建設業協会・建設業青年部会主催)



模型実験を取り入れた“ふれあい型”のイベントの開催



(レンガアーチ製作体験)



ものづくりの楽しみ、建設業の魅力を発信する若手育成プロジェクト



(コンクリート打設体験)





女性技術者交流会 In 県立浦添工業高等学校

日 時 : 令和6年12月4日(水)13:35~15:30
 場 所 : 沖縄県立 浦添工業高等学校
 参 加 者 : 高校生(23人)
 民間(teamけんせつ美ら小町、(一社)沖縄県建築士事務所協会)・県の女性技術者(13名)
 内 容 : 将来を担う女性技術者の確保に向け、土木・建築を専攻する女子高校生と民間・県等の建設業に従事する女性技術者が集まり、建設業の現状や魅力に関する意見交換会を開催



パネル展示ブース



カニクレーンの操作体験



物品展示



建設技術系県職員等による小中学校出前講座

内容： 将来の担い手確保のため、特に離島の小学校高学年から中学生向けに、建設業への興味や理解を深めるための出前講座を開催。

座間味小中学校

講義の様子



クイズ出題



石垣市立野底小学校

道路パトロールカー乗車体験



県内の建設現場を見学し、
土木・建築の技術や工法などの説明を聞きながら、
沖縄の建設業について親子で学びます。

対 象：小学生（4年生以上）～中学生とその保護者
 実施日時：令和7年2月11日（火）10:00～16:00
 実施場所：南風原バイパス（南風原町宮平）、幸地インター線（西原町幸地）
 募集人数：10組（20名）程度
 集合場所：沖縄しまたて協会（浦添市勢理客4-18-1 トヨタビル）
 参加費：無料（昼食・飲み物付き）
 参加申込方法：Googleフォームにて受付（QRコードまたはURLから）
 <URL : <https://forms.gle/Yf3akYJurGYBfiAA>>
 参加申込締切：令和7年1月31日（金）※定員に達し次第締め切り



【主催】沖縄県 土木建築部 技術・建設業課
 【参加申込・お問合せ先】一般社団法人 沖縄しまたて協会 技術環境研究所
 TEL: (098) 879-2091 FAX: (098) 874-5301 メール: vision2024@shimatate.or.jp
 ※電話対応：10:00～18:00（12時～13時を除く）

「北九州ゆめみらいワーク」に建設業PRブースを出展

- 目的：中学生や高校生等を対象に、市内建設業の仕事内容等について直接聞き、体験することで建設業と地元企業の魅力を伝え、若者の職業観を醸成し、将来の地元建設業への就職につなげるもの
- 日時：令和6年12月11日(水)・12日(木) 9:30~16:00
- 会場：西日本総合展示場
※来場者数：10,173人(建設業PRブース来場者数:約2,000人)

建設業PRブース「明日の北九州市を支える建設業」

◆協力団体：北九州GIS測量協会、北九州市建設コンサルタント協会、北九州市建設業協会、北九州港湾建設協会

■ 測量ブース

- ・測量用ドローンシミュレーター
- ・測量機器操作
- ・立体3D地図体験 など

■ 設計ブース

- ・下水道管渠探索ロボット操作
- ・3D道路ドライブシミュレーター
- ・ドローン関連技術紹介 など

■ 工事ブース

- ・シヨベルカーシミュレーター
- ・消波ブロック効果見学
- ・釘打ち体験 など



立体3D地図体験



測量機器操作



シヨベルカーシミュレーター



釘打ち体験

ウェブサイト「ケンセツ男子・ケンセツ女子」でPR

建設業の仕事で活躍するカッコイイ若者
「ケンセツ男子・ケンセツ女子」を紹介！



『ケンセツ男子・ケンセツ女子』とは？

世界遺産に登録された官営八幡製鐵所の創業以来、「ものづくりの街」として、日本産業の近代化と高度経済成長の礎を築いてきた北九州市。本市には、ものづくりの歴史の中で、脈々と受け継がれた技術や職人を有する建設業者が数多く存在します。こうした建設業の現場でイキイキと働く若者・女性たちの姿を専用サイトで紹介しています。

※ 現在66名のケンセツ男子・ケンセツ女子を掲載中!!

『ケンセツ男子・ケンセツ女子』サイトはこちら

URL : <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/kensetsu-danshi-iyoshi/>

「ケンセツ男子」「ケンセツ女子」いずれかで検索



■ 問合せ先/北九州市 技術監理局 技術企画課 093-582-2043

学・官・産 合同で現場研修会を開催

- 対象：福岡県立 八幡工業高等学校 土木科(1年生)
- 日時：令和6年9月25日(水) 12:35～14:30
- 会場：八幡工業高等学校 会議室、工事現場(市発注工事)
- 主催：北九州港湾建設協会
(後援:北九州市/協力:福岡県立 八幡工業高等学校)

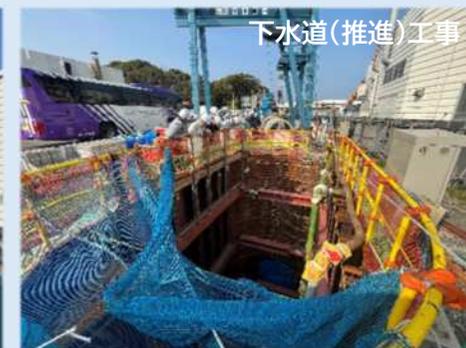
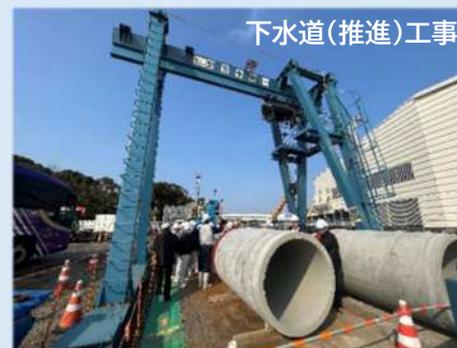
■ 学生リポーターによる現場リモートパトロール

- ・ 工事現場の状況や現場で働く技術者を生徒が直接取材し、リモートによる学校との生中継によって、学校にいる生徒もリアルタイムで現場を体験。



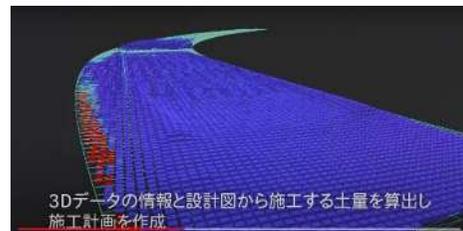
公共工事の現場見学バスツアーを開催

- 対象：福岡県立 八幡工業高等学校 土木科(2年生)
- 日時：令和7年1月22日(水) 13:00～16:30
- 見学先：市発注工事現場 (工種:下水道/河川/橋梁/道路/区画整理)



i-Construction のPR（動画・マンガを市ホームページ等で公開）

■ 動画



【動画QR】



【URL】 <https://youtu.be/3OeWjPxVMzY>

■ マンガ



【マンガQR】



【URL】 <https://www.city.kitakyushu.lg.jp/gi-kan/02300161.html>

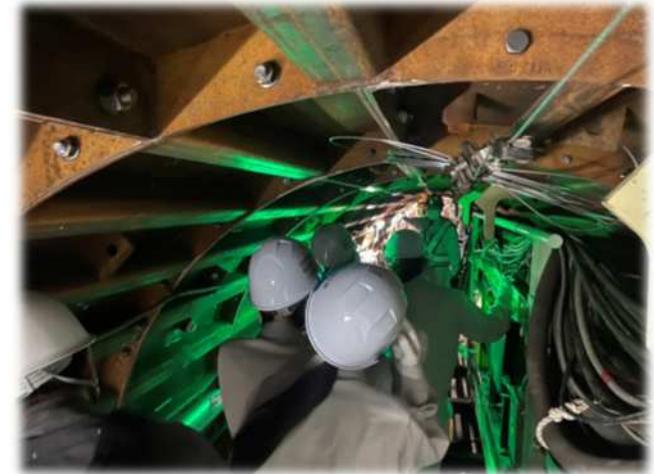
アートを活用したイベントの実施

- 土木について学習した後に、小学生に土木をテーマにしたアートを描いてもらい巨大壁画アートとして掲示

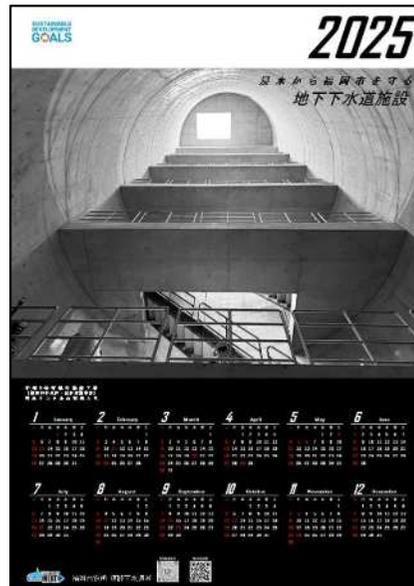


現場見学会の実施

- 県内の高校等の学校と連携し、工事現場の見学会を実施



ポスター型カレンダーの配布



SNSの活用

- Instagram、Facebookを活用した情報発信



建設業の魅力発信の取組状況

【熊本市】



現場見学ツアー



出前講座



- ・出前講座の実施
- ・現場見学ツアーの実施
- ・SNSの活用

日時：令和6年8月2日(金)13:00～17:00

場所：沖縄総合事務局(DXルーム)・南風原バイパス(現場体験)

参加中学生：19名

【概要】

- 開発建設部の女性職員と県内の女性技術者で作る「teamけんせつ美ら小町」と共同で、女子中学生を対象に現場体験会を開催しました。
- 建設業について、将来の職業選択肢に挙げて貰えるよう首里城VR体験や、工事現場でICT建機の見学、ドローンでの写真撮影などを行いました。



DXルームにおける首里城VR体験



工事現場でICT建機の見学



ドローンで写真撮影している様子

■ SNSを活用した魅力発信の取組

＜本局や各事務所において「X」「Facebook」「Instagram」「Youtube」を用い様々な情報を発信＞



SNS総フォロワー数 約 **71,700**人

- ・ X : 約 58,700人
- ・ Facebook : 約 6,000人
- ・ Instagram : 約 2,900人
- ・ Youtube : 約 4,100人

■ 小学生を対象に重機乗車体験やドローン操作体験等を実施

＜鹿児島県国道事務所が「モノづくりの仕事に興味を持ってもらいたい」という思いで現場体験学習会を実施＞



■ 道路パトロール車の乗車体験やTEC服を着用した写真撮影等を実施

＜佐伯河川国道事務所が土木フェスタ&さいきキラキラマルシェで未来を担う子どもたち向けに出展＞



■ 災害対応協力業者の取組状況をHPで発信

＜災害発生時の応急対応、復旧作業を実施した災害対応協力業者の取り組み状況を発信＞



災害対応協力業者の取組状況(一例)

大雨による冠水応急対策 (株)久保組 (福岡国道事務所)

○令和6年7月1日の10時～13時までの3時間で110mmもの豪雨に見舞われ、国道210号の福岡県うきは市三幸(福岡大分境)で山水の流入による路面冠水が発生し、通行に影響をきたした。
○応急対策として水の流入を遮断するため大型土嚢を設置し、交通利用者の安全確保に努めた。

○大雨による山水からの流入が想定を超えたため、従来の排水設備での対応を行わず、緊急対応として大規模な土嚢による排水対策を実施しました。
○大発生した豪雨の被害については発生直後と復旧作業の進捗を、1分単位で発信し、関係者へ共有しました。
○発生した豪雨による被害は、関係者へ共有し、関係者の協力を得て、復旧作業を進め、安全かつ迅速に作業を行うことができました。

地震時における道路施設の緊急点検 (株)共同建設コンサルタント(筑後川西国道事務所) 国土交通省九州地方整備局

○(被害状況) 令和6年6月8日10時25分頃、大隅半島東方沖を震源とする地震が発生した。最大震度は宮崎県日南市で震度4弱を記録したほか、九州地方で震度4～1を記録。
○(対応状況) 地震翌日の4月9日に現地に入り、目視等・歩行等における国道220号の道路施設(橋梁44箇所・トンネル4箇所)の緊急点検を実施した。

「国道220号」は国土交通省九州地方整備局管内に架かる国道に属する。震害発生後、道路施設(橋梁・トンネル)の緊急点検を実施し、被害状況の把握、点検結果の共有、被害状況の把握と関係者への共有、被害状況の把握と関係者への共有、被害状況の把握と関係者への共有。

▲施工業者

▲設計・調査業者